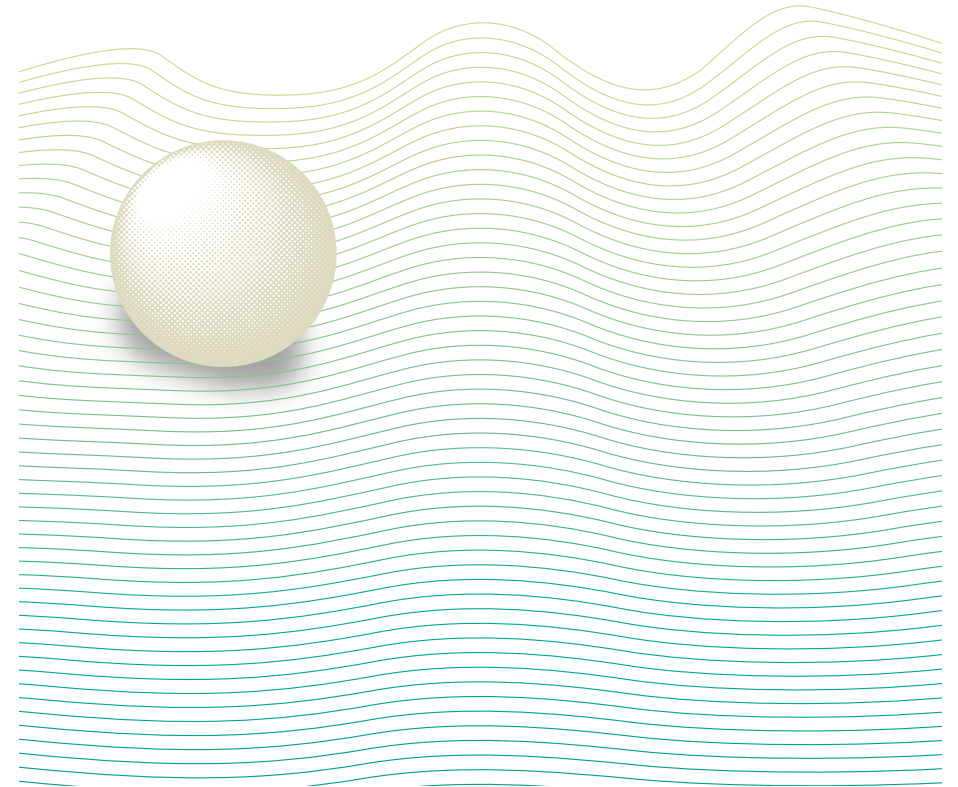




本社・工場

第61期 第2四半期決算のご報告

平成24年8月21日～平成25年2月20日



 福島印刷株式会社

〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地
TEL(076)267-5111(代) FAX(076)267-8065
URL <http://www.fuku.co.jp/>



C906

福島印刷株式会社

証券コード 7870

株主のみなさまへ



ふくしまみちお
代表取締役社長 福島理夫

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第61期第2四半期累計期間（平成24年8月21日から平成25年2月20日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災復興需要等により緩やかな回復の動きが見られ、政権交代による経済政策への期待感から円安の進行、株価の上昇等が進む一方、長期化する欧州経済の低迷や新興国経済の減速等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

印刷業界におきましても、企業の販売促進費の抑制やWeb化による需要の減少、競争激化による受注価格下落の影響を受け、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社はDP（データプリント）サービスを中心とした製品開発やサービスの充実、基盤強化による業務の効率化、顧客志向の企画提案型販売活動による需要の創造

に、継続的に取り組んでまいりました。

しかしながら、厳しい環境を乗り越えるには至らず、当第2四半期累計期間の売上高は25億72百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業損失は16百万円（前年同四半期は34百万円の営業利益）、経常損失は25百万円（前年同四半期は25百万円の経常利益）、四半期純損失は23百万円（前年同四半期は5百万円の四半期純利益）の減収減益となりました。

今後の見通しにつきましては、昨年末の政権交代以降、株高・円安の進行による景気回復への期待感が高まっていますが、実態の経済へ浸透するのはこれからであり、欧州における債務問題や新興国の景気減速懸念も払拭されていないことから、先行きにつきましては政府・日銀のデフレ脱却策や成長促進策などの進捗状況と効果を見定める必要があります。

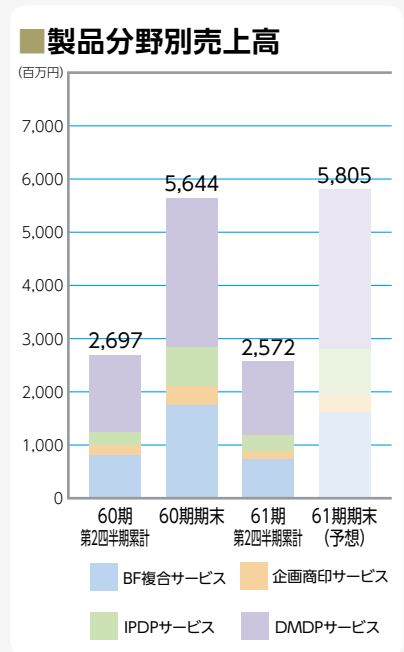
印刷業界におきましては、近年の印刷需要の減少傾向や同業者間の競争激化など厳しい経営環境が続くものと考えられます。

このような状況のもと、当社はビジネスフォーム等印刷物やDPサービスにおける製品開発やサービスの充実を図るとともに、販促業務や事務通信業務など顧客のBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）ニーズへの対応を推進することにより、業績向上に向けて全力で取り組んでまいります。

なお、中間配当金につきましては、平成25年3月29日開催の取締役会において、1株当たり5円と決議しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

製品分野別売上高



福島印刷の

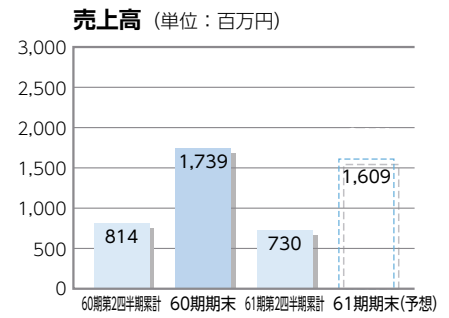
4分野による複合サービスの実現

当社は情報発信のパートナーとして、「コミュニケーション エイジェント」という新しいビジネスモデルを目指しています。お客様の情報発信は多様で、その手段、ツールにも様々な選択肢があります。そこからお客様視点に立ち多様な可能性を求めて、4つのサービス形態を整備拡張しています。

BF(ビジネスフォーム)複合サービス

- コンピュータ用帳票
- 一般帳票
- シール・ラベル など

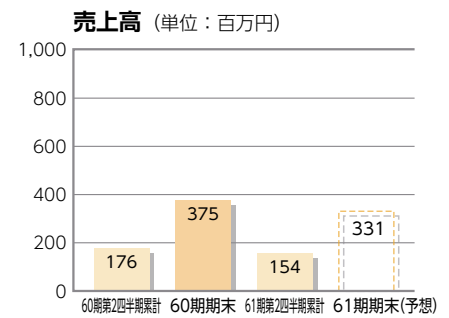
BF複合サービスは、コンピュータ用帳票に代表される機械加工を伴った帳票印刷分野です。IT化の進展に加え、景気低迷に伴う企業の経費削減による需要量の減少傾向が依然として続いていることから、売上高は前年同四半期を84百万円(10.3%)下回る7億30百万円となりました。



企画商印サービス

- 広告宣伝用印刷
- ディスクロージャー関連印刷
- マニュアル印刷 など

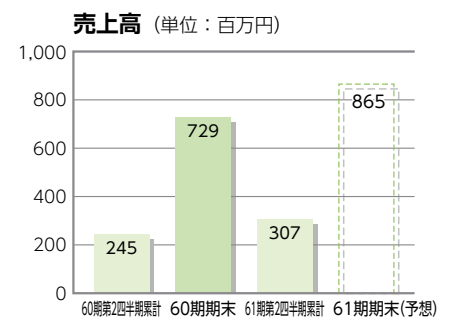
企画商印サービスは、パンフレットやカタログに代表されるビジュアル印刷物の分野です。企業の経費抑制が継続するなか、同業者間での価格競争が激しさを増すなど厳しい受注環境が続いたことから、売上高は前年同四半期を22百万円(12.3%)下回る1億54百万円となりました。



IPDP (インフォメーションプロセッシング データプリント) サービス

- 事務通信処理受託
- 帳票出力処理 など

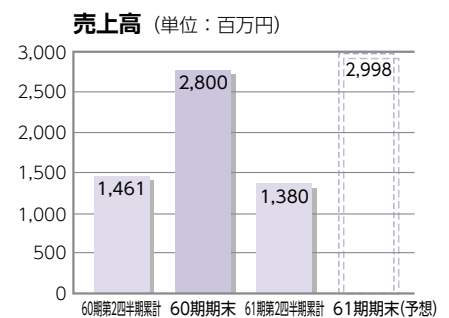
IPDPサービスは、企業が定期的に発送する請求書や官公庁が住民に発送する各種通知書など、事務通知書類のデータプリントから、封入封緘などの後処理、メール発送までを代行するサービス分野です。主力のはがきパックサービスが順調に推移し、売上高は前年同四半期を62百万円(25.2%)上回る3億07百万円となりました。



DMDP (ダイレクトメール データプリント) サービス

- ダイレクトメール
- ダイレクトメール処理受託 など

DMDPサービスは、お客様の顧客データベースが進化するなかで、有力な販促物を提供するサービス分野として発展しました。顧客のデータ分析がより精緻化され、当社が得意とするワントゥワンDMの受注が増加する一方、大ロットDMの抑制傾向が顕著となり、売上高は前年同四半期を81百万円(5.5%)下回る13億80百万円となりました。



当社「ならでは」の取り組み

高速インクジェットプリンタの増設

当第2四半期新たに2800IJ CCF(富士ゼロックス社製)を導入いたしました。当社では主力プリンタのインクジェット化による高速化・低コスト化を進めてまいりましたが、DP(データプリント)サービスの順調な伸長により、既設のプリンタ設備では今後のさらなる伸長を支えるには厳しいと判断。増設を決断いたしました。

■ 主力プリンタ設備のインクジェット化—生産能力の向上へ—

同設備の生産速度200m/分は、インクジェットプリンタとして最速レベルにあり、トナープリンタを含む従来設備の60~150m/分と比べ大幅な生産キャパシティの向上が実現。さらにプリントコストの低減効果も期待できます。今回の導入により、当社DPサービスでは一部の小ロット製品を除くほぼ全ての製品がインクジェットプリンタで出力されることとなります。



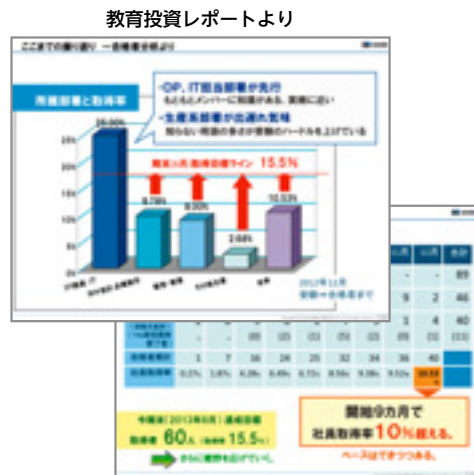
ITスキル強化のための教育投資

■ 進捗のご報告

DPサービスの成長を背景に、2012年4月よりITスキル強化を目指した教育投資制度を開始。ベース資格の「ITパスポート試験」の社員取得率は10%を超えました。

■ 課題の認識—現実の成果を目指して—

現在上位資格の合格者も誕生し、2月からは講師を招いた社内勉強会を開催する等、いっそうの取得支援を実施しております。今後は実務に即したレベルアップと共にさらなるDPサービスの成長を目標として、ベース拡大とステップアップを推進してまいります。



進化するセキュリティ体制—新DW室—

個人情報データを扱う「DW(データワーク)室」の移設を機に、新しい入退管理システムの導入や警備会社の防犯システムの見直し等、さらなるセキュリティ強化を実施いたしました。

■ 入退室の記録を録画

入退管理システムと連動したカメラを出入口に設置いたしました。不正入室等のエラー発生時には、入退管理システム上のログとカメラ映像を照合することが可能となりました。



■ 指紋認証(二人入室)システムを導入

情報媒体取り扱い専用の「媒体取扱室」に、指紋認証システムを導入いたしました。従来の二人入室体制から指紋による二人照合へとバージョンアップしました。また室内には作業記録カメラを設置し、作業上・セキュリティ上の問題発生時には、作業をトレースすることが可能となりました。



■ フィックス窓&警備会社の防犯システム

外部からの不正侵入に備え、窓はフィックス窓(開閉不可)となっています。不正侵入に対しては、各種センサーが感知し、自動的に警備会社へ通報されるしくみとなっています。



■ 社内情報基盤と個人情報処理環境の分離—5S環境化—

社内情報基盤を利用する環境と、個人情報を取り扱う処理環境を、ネットワーク上および作業スペース上で分離しています。これにより、個人情報取り扱いの(5S)環境としての基盤を整えています。



■ ICカードプリンタの設置

個人情報データ処理開発環境へ、ICカードで本人認証するプリンタを導入。プログラム開発中の出力ドキュメントからの情報流出対策を強化いたしました。出力紙を放置させず、個人情報が含まれる情報は緑色の専用紙に出力し、通常の情報と識別して管理いたします。



財務諸表

■ 四半期貸借対照表

(平成25年2月20日現在)

科目	当第2四半期 会計期間末	前事業年度末
【資産の部】		
流動資産	1,808,599	1,932,790
現金及び預金	415,465	474,132
受取手形及び売掛金	1,008,504	1,141,425
製品	111,476	86,686
仕掛品	124,003	74,830
原材料及び貯蔵品	97,676	92,173
繰延税金資産	43,135	47,519
その他	10,354	18,306
貸倒引当金	△ 2,017	△ 2,282
固定資産	4,057,592	4,247,489
有形固定資産	3,810,305	4,011,770
建物	1,446,100	1,475,535
機械及び装置	735,935	820,309
土地	965,106	965,106
リース資産	624,526	709,792
その他	38,637	41,027
無形固定資産	82,081	86,846
投資その他の資産	165,205	148,872
資産合計	5,866,191	6,180,280

単位:千円

科目	当第2四半期 会計期間末	前事業年度末
【負債の部】		
流動負債	1,561,231	1,730,411
買掛金	196,867	152,138
短期借入金	771,800	888,060
リース債務	255,502	247,942
未払法人税等	6,612	55,417
その他	330,448	386,852
固定負債	696,891	799,603
長期借入金	1,200	22,800
リース債務	498,374	599,892
退職給付引当金	147,761	121,056
その他	49,555	55,855
負債合計	2,258,122	2,530,015
【純資産の部】		
株主資本	3,585,796	3,639,481
資本金	460,000	460,000
資本剰余金	285,200	285,200
利益剰余金	2,840,688	2,894,372
自己株式	△ 91	△ 90
評価・換算差額等	22,272	10,783
その他有価証券評価差額金	22,272	10,783
純資産合計	3,608,069	3,650,265
負債純資産合計	5,866,191	6,180,280

(記載金額は千円未満切捨)

■ 四半期損益計算書

(平成24年8月21日から平成25年2月20日まで) 単位:千円

科目	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
売上高	2,572,915	2,697,396
売上原価	1,967,981	2,041,950
売上総利益	604,933	655,446
販売費及び一般管理費	621,616	620,696
営業利益又は営業損失(△)	△ 16,682	34,749
営業外収益	7,112	7,603
受取利息	60	69
受取配当金	741	782
作業くず売却益	4,352	5,007
その他	1,958	1,744
営業外費用	15,495	16,843
支払利息	12,792	16,548
その他	2,702	295
経常利益又は経常損失(△)	△ 25,065	25,509
特別利益	-	2,710
固定資産受贈益	-	2,710
特別損失	6,622	4,713
固定資産除却損	3,323	1,046
事務所移転費用	2,486	3,579
投資有価証券評価損	-	86
その他	813	-
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△ 31,688	23,506
法人税、住民税及び事業税	1,000	15,600
法人税等調整額	△ 9,002	2,616
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△ 23,686	5,290

(記載金額は千円未満切捨)

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(平成24年8月21日から平成25年2月20日まで) 単位:千円

科目	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	284,274	268,952
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,724	△ 79,195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 293,416	△ 184,598
現金及び現金同等物の増減額	△ 11,866	5,157
現金及び現金同等物の期首残高	376,832	372,563
現金及び現金同等物の 四半期末残高	364,965	377,721

(記載金額は千円未満切捨)



(前列左より) 館、福島、下島、戸田
(後列左より) 松谷、市村、大谷、岩木、山崎

役員 (平成25年4月26日現在)

代表取締役社長	福島理夫	取締役	松谷裕
専務取締役	下島	常勤監査役	大谷光男
取締役	館芳昭	監査役	岩木ひろ勝
取締役	戸田綾一	監査役	山崎しゅうじ
取締役	市村嘉宏		

会社の概要

商号	福島印刷株式会社
英文名	FUKUSHIMA PRINTING CO.,LTD.
本店所在地	〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地 TEL (076) 267-5111 (代)
設立	昭和27年9月10日
資本金	4億6,000万円
従業員数	381名
事業所	本社及び工場 金沢市佐奇森町ル6番地 東京営業部 東京都中央区日本橋本町4丁目5番14号 入江ビル6F 西日本営業部 大阪市淀川区宮原5丁目1番28号 新大阪八千代ビル別館8F 富山営業所 富山市上袋708番地1 福井営業所 福井市和田東2丁目1718番地

株式についてのご案内

事業年度	8月21日から翌年8月20日まで
定時株主総会	11月
基準日	定時株主総会 8月20日 期末配当 8月20日 中間配当 2月20日 その他必要があるときは、予め公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

単元株式数	100株
上場証券取引所	名古屋証券取引所
公告方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.fuku.co.jp/) に掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法とします。

株主優待制度	8月20日基準日現在1,000株以上の株主を対象に、自社指定の株主優待を、ご希望に応じてお選びいただけます。
--------	--

平成24年優待品



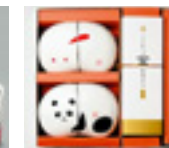
金沢五郎島金時



「四十萬谷本舗」かぶら寿し



能登牛カレー&シチューセット



豆菓子・金のカステラ詰合せ



ざぶん賞へ寄付